

**2020年（第32回）
介護福祉士筆記試験
【午前の部】**

<領域：人間と社会>

人間の尊厳と自立

問題 1

Aさん（78歳，女性，要介護3）は，訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用している。72歳から人工透析を受けている。透析を始めた頃から死を意識するようになり，延命治療を選択する意思決定の計画書を作成していた。しかし，最近では，最期の時を自宅で静かに過ごしたいと思い，以前の計画のままでよいか気持ちに迷いが出てきたので，訪問介護（ホームヘルプサービス）のサービス提供責任者に相談した。

サービス提供責任者の対応として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「この計画書は，医療職が作成するものですよ」
- 2 「一度作成した計画書は，個人の意向で変更するのは難しいですよ」
- 3 「意思確認のための話し合いは，何度でもできますよ」
- 4 「そんなに心配なら，特別養護老人ホームに入所できますよ」
- 5 「この計画書は，在宅ではなく病院での治療を想定したものですよ」

問題 2

利用者の意思を代弁することを表す用語として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 インフォームドコンセント（informed consent）
- 2 ストレngth（strength）
- 3 パターナリズム（paternalism）
- 4 エンパワメント（empowerment）
- 5 アドボカシー（advocacy）

人間関係とコミュニケーション

問題 3

他者とのコミュニケーションを通じた自己覚知として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自己の弱みより強みを重視する。
- 2 自己の感情の動きとその背景を洞察する。
- 3 自己の行動を主観的に分析する。
- 4 自己の私生活を打ち明ける。
- 5 自己の価値観を他者に合わせる。

問題 4

高齢者とのコミュニケーションにおける配慮として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 相手と視線が合わせられる位置で話す。
- 2 相手には座ってもらい，自分は立ったまま話す。
- 3 初対面のときから相手と密着した距離で話す。
- 4 相手の表情があまり見えない薄暗い場所で話す。
- 5 たくさんの人がいる，にぎやかな場所で話す。

社会の理解

問題5 地域包括ケアシステムでの自助・互助・共助・公助に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自助は、公的扶助を利用して、自ら生活を維持することをいう。
- 2 互助は、社会保険のように制度化された相互扶助をいう。
- 3 共助は、社会保障制度に含まれない。
- 4 共助は、近隣住民同士の支え合いをいう。
- 5 公助は、自助・互助・共助では対応できない生活困窮等に対応する。

問題6

「働き方改革」の考え方に関する記述として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 長時間労働は日本社会の特質で、時間外労働の限度の設定は困難である。
- 2 有給休暇の取得よりも、働くことが優先される。
- 3 働く人々のニーズに応じた、多様な働き方を選択できる社会の実現を図る。
- 4 正規雇用労働者と非正規雇用労働者の待遇の格差が存在することは、当然である。
- 5 「働き方改革」は、中小企業は対象でない。

(注) ここでいう「働き方改革」とは、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」に基づく諸施策の実施のことである。

問題7

Bさん(80歳、女性、要介護1)は、身寄りがなく一人暮らしをしている。

高齢基礎年金で暮らしてきたが、貯金が少なくなり、生活が苦しくなってきた。このため2万円の家賃支払いも困難になり、通所介護事業所のC生活相談員に、費用がかかる通所介護(デイサービス)の利用をやめたいと言ってきた。

C生活相談員の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員(ケアマネジャー)に、通所介護(デイサービス)の利用中止を依頼する。
- 2 介護支援専門員(ケアマネジャー)に、サービス担当者会議で利用中止の検討を依頼する。
- 3 福祉事務所に相談するように助言する。
- 4 これまでどおりの利用を説得する。
- 5 無料で利用できる地域の通所型サービスを探す。

問題8

2015年度(平成27年度)以降の社会保障の財政に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 後期高齢者医療制度の財源で最も割合が大きいものは、後期高齢者の保険料である。
- 2 社会保障給付費の財源では、税の占める割合が最も大きい。
- 3 生活保護費の財源内訳は、社会保険料と税である。
- 4 国の一般会計予算に占める社会保障関係費の割合は、30%を超えている。
- 5 社会保障給付費の給付額では、医療費の構成割合が最も大きい。

問題 9

介護保険制度の被保険者に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 加入は任意である。
- 2 第一号被保険者は、65歳以上の者である。
- 3 第二号被保険者は、20歳以上65歳未満の医療保険加入者である。
- 4 第一号被保険者の保険料は、都道府県が徴収する。
- 5 第二号被保険者の保険料は、国が徴収する。

問題 10

介護予防・日常生活支援総合事業に含まれる事業として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族介護支援事業
- 2 予防給付
- 3 介護給付
- 4 権利擁護事業
- 5 第一号訪問事業（訪問型サービス）

問題 11

障害福祉計画に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 厚生労働大臣は基本的な指針を定めなければならない。
- 2 都道府県による策定は努力義務である。
- 3 市町村による策定は努力義務である。
- 4 障害児福祉計画とは計画期間が異なっている。
- 5 文化芸術活動・スポーツの振興についての目標設定をしなければならない。

問題 12

Dさん（60歳、女性）は、交通事故で下肢に障害が生じた。現在、入院中のDさんは退院後、在宅での生活を続けるために、「障害者総合支援法」の障害福祉サービス（居宅介護）の利用を希望している。Dさんが障害福祉サービス（居宅介護）を利用するための最初の手続きとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 地域包括支援センターに相談する。
- 2 医師の診断書を居住する市町村に提出する。
- 3 障害福祉サービス（居宅介護）を提供している事業所と契約する。
- 4 居住する市町村の審査会に、障害福祉サービス（居宅介護）の利用を申し出る。
- 5 居住する市町村の担当窓口で、障害福祉サービス（居宅介護）の支給申請をする。

（注） 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 13 2018 年度（平成 30 年度）に創設された共生型サービスの対象となるサービスとして、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 訪問看護
- 2 共同生活援助（グループホーム）
- 3 同行援護
- 4 通所介護（デイサービス）
- 5 通所リハビリテーション

問題 14

自閉症（autism）の E さん（22 歳，男性，障害支援区分 5）は，就労支援施設に通所している。こだわりが強く，毎月購入している雑誌を処分するとパニックになってしまう。

「障害者虐待防止法」の視点を踏まえて，E さんの気持ちが安定するように，施設の介護福祉職が E さんにかかる言葉として，最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 「決まりですから捨てますよ」
- 2 「読みたい雑誌はとっておきましょう」
- 3 「古紙として再生利用しますからね」
- 4 「E さんにこの雑誌をあげるわけにはいかないですよ」
- 5 「次の新しい雑誌がきますよ」

（注）「障害者虐待防止法」とは，「障害者虐待の防止，障害者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

問題 15

成年後見制度に関する次の記述のうち，適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 「2018 年（平成 30 年）の全国統計」によれば，補助，保佐，後見のうち，最も多い申立ては後見である。
- 2 「2018 年（平成 30 年）の全国統計」によれば，親族後見人が 7 割を占めている。
- 3 成年後見人は，施設入所の契約だけでなく介護も行う。
- 4 任意後見制度では，候補者の中から家庭裁判所が成年後見人を選任する。
- 5 成年後見制度利用支援事業では，成年後見人への報酬は支払えない。

（注）「2018 年（平成 30 年）の全国統計」とは，「成年後見関係事件の概況—平成 30 年 1 月～12 月—」（平成 31 年 3 月最高裁判所事務総局家庭局）のことである。

問題 16

生活保護法における補足性の原理の説明として，適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 国の責任において保護を行う。
- 2 全ての国民に無差別平等な保護を行う。
- 3 健康で文化的な生活を維持できる保護を行う。
- 4 資産・能力等を活用した上で保護を行う。
- 5 個人または世帯の必要に応じて保護を行う。

介護の基本

問題 17 Fさん(72歳, 女性, 要介護2)は, 中等度の認知症(dementia)があり, 自宅で夫と生活している。ある日, 訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問すると, 夫が散乱したコーヒー豆を片づけていた。Fさんは, 「わからなくなっちゃった」と言っていた。訪問介護員(ホームヘルパー)が夫に事情を聞くと, 「今日も課でコーヒーを豆から挽ひいて入れてくれるんだが, 最近は失敗することが多くなって, 失敗すると自信を失ってしまうしね。でも, 毎朝, 『コーヒーを入れなくちゃ』と言うんだ」と寂しそうに話した。

訪問介護員(ホームヘルパー)の夫への助言として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「そばにいて, Fさんと一緒にコーヒーを入れてはどうですか」
- 2 「Fさんと一緒に, 喫茶店にコーヒーを飲みに行ってみてはどうですか」
- 3 「おいしいコーヒーを買ってきて二人で飲んではどうですか」
- 4 「私がFさんからコーヒーの入れ方を教えてもらいましょうか」
- 5 「新しいコーヒーメーカーを買ってはどうですか」

問題 18 Gさん(80歳, 女性, 要介護3)は, 脳卒中(stroke)の後遺症により左片麻痺があり, からだを思うようにコントロールができず, ふらつきが見られる。以前は, 2週間に一度は美容院で長い髪をセットしてもらい, 俳句教室に行くのを楽しみにしていた。病気になってからは落ち込むことが増え, 介護が必要になったため, 介護老人福祉施設に入所した。

ノーマライゼーション(normalization)の考え方を踏まえた, Gさんへの生活支援として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 洗髪しやすいように, 長い髪のカットを勧める。
- 2 共同生活のため, 夕食は施設の時間に合わせてもらう。
- 3 落ち込んでいるため, 居室での生活を中心に過ごしてもらう。
- 4 おしゃれをして, 施設の俳句クラブに参加するように勧める。
- 5 転倒予防のため, 車いすを使用してもらう。

問題 19 ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health: 国際生活機能分類)の視点に基づく環境因子と心身機能の関連を表す記述として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 電気スタンドをつけて, 読書を楽しむ。
- 2 車いすを使用して, 美術館に行く。
- 3 聴力が低下すると, コミュニケーションがうまくとれない。
- 4 ストレスが溜たまると, 活力が低下する。
- 5 床面の性状が柔らかいと, バランスを崩す。

問題 20 Hさん(80歳,女性,要介護1)は,アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)である。20年前に夫が亡くなった後は,ずっと一人暮らしをしている。これまでの生活を続けていきたいので,訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することにした。

訪問介護員(ホームヘルパー)のHさんへの対応として,最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Hさんの意向を確認して,今までどおり畳で布団の使用を継続した。
- 2 入浴後,手ぬぐいで体を拭いていたが,バスタオルに変更した。
- 3 訪問介護員(ホームヘルパー)の判断で,食事の前にエプロンをつけた。
- 4 整理整頓のために,壁に立てかけてあった掃除機を押し入れに片づけた。
- 5 Hさんの気持ちを切り替えるために,家具の配置を換えた。

問題 21 「平成30年版高齢社会白書」(内閣府)で示された65歳以上の者の家庭内事故の発生割合が最も高い場所(屋内)として,正しいものを1つ選びなさい。

- 1 階段
- 2 台所・食堂
- 3 風呂場
- 4 トイレ
- 5 居室

問題 22 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)での介護に関する次の記述のうち,最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 テレビのニュースを見て,新しい出来事を覚えてもらう。
- 2 利用者それぞれの要求には応えられないので,同じ日課で過ごしてもらう。
- 3 利用者の,現在よりも過去の身体的・精神的状態の把握が優先される。
- 4 利用者の,なじみのある人や店との関係は継続していく。
- 5 環境に慣れるまでは,車いすでの移動を勧める。

問題 23 訪問介護事業所のサービス提供責任者の役割に関する次の記述のうち,最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の生活課題に沿って,居宅サービス計画書を作成する。
- 2 具体的な援助目標及び援助内容を記載した訪問介護計画書を作成する。
- 3 利用者の要望に応じて,他の事業所との利用調整を行う。
- 4 判断能力が十分でない人に対して,日常的な金銭管理を行う。
- 5 居宅サービス事業者を招集して,サービス担当者会議を開催する。

問題 24 介護の実践における多職種連携に関する次の記述のうち,最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 医師が多職種連携の中心となる介護実践のことである。
- 2 民生委員やボランティアは,多職種連携のチームから除かれる。
- 3 医療と介護の連携とは,利用者の体調不良時に医療機関を受診させることを指す。
- 4 要介護度の改善を優先して,多職種連携によるケアプランを作成する。
- 5 利用者のケアの方向性に関する情報を共有して,課題の解決に取り組む。

問題 25 介護福祉職の倫理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護の技術が伴わなくても、利用者の要望を最優先に実施した。
- 2 利用者が求めた医行為は、実施が可能である。
- 3 個人情報の取扱いについて、利用者に説明して同意を得た。
- 4 暴力をふるう利用者を自室から出られないようにした。
- 5 業務が忙しかったので、施設の廊下で職員同士の打合せを行った。

問題 26 高齢者介護施設で、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）の保菌者が確認されたときの対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 入所者全員の保菌の有無を調べる。
- 2 接触感染予防策を実施する。
- 3 保菌者のレクリエーションへの参加を制限する。
- 4 保菌者は最初に入浴する。
- 5 通常用いられる消毒薬は無効である。

コミュニケーション技術

問題 27 直面化の技法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の感情と行動の矛盾点を指摘する。
- 2 うなずきやあいづちを用いて、利用者の話を促す。
- 3 利用者が話した内容を、整理して伝える。
- 4 利用者が話した内容を、別の言葉を使って簡潔に返す。
- 5 「はい」や「いいえ」だけで答えられる質問をする。

問題 28 意欲が低下した人とのコミュニケーションの基本として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 考え方を変えるように促す。
- 2 早く元気を出すように励ます。
- 3 意欲が自然に回復するまで待つ。
- 4 意欲低下の背景を考える。
- 5 自己決定してもらうのは避ける。

問題 29 構音障害のある利用者とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 閉じられた質問の活用を控える。
- 2 聞き取れないところは、再度言ってもらう。
- 3 はっきりと発音するように促す。
- 4 耳元で大きな声で話しかける。
- 5 筆談の活用を控える。

問題 30 視覚障害者とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 挨拶するときは後ろから声をかける。
- 2 話しかけることは最小限にとどめる。
- 3 聴覚，触覚，嗅覚を活用する。
- 4 声の強弱などの準言語の活用は控える。
- 5 方向を示すときは「あちら」「そちら」と表現する。

次の事例を読んで、問題 31、問題 32 について答えなさい。

〔事例〕

Jさん(20歳、男性)は、中度の知的障害を伴う自閉症(autism)があり、2か月前から就労継続支援B型事業所を利用している。Jさんは、日常生活に関することは自分の感情を伝えることができるが、他者の感情を読み取ることや抽象的な言葉の理解は苦手である。また、社会的な善悪に照らして自分の言動を判断することが難しい。

ある日、事業所で作業中にJさんが興奮して他の利用者を叩いた。介護福祉職は二人を引き離し、Jさんを個室に連れて行って対応した。

作業終了後、同居している家族にJさんの出来事を伝えた。家族はJさんに、「どうしてそんなことをするの。いつもだめなことばかりして」とイライラした口調で叱った。

問題 31 Jさんを個室に連れて行ったときの、介護福祉職のJさんに対する最初の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「人を叩くのは許されません」
- 2 「相手の気持ちを想像しましょう」
- 3 「自分のしたことを反省しましょう」
- 4 「ここで話をしましょう」
- 5 「なぜ叩いてしまったのですか」

問題 32 Jさんを叱った家族への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 叱ることは正しいと支持する。
- 2 家族の対応は間違っていると否定する。
- 3 Jさんへのこれまでの対応や思いを聴く。
- 4 家族の対応には介入せずに黙認する。
- 5 介護福祉職の指示どおりに対応するように伝える。

次の事例を読んで、問題 33、問題 34 について答えなさい。

〔事例〕

Kさん(80歳、男性)は、中等度の認知症(dementia)があり、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居中である。16時頃、KさんがL介護福祉職に、「仕事は終わりました。家に帰ります」と伝えてきた。その後、L介護福祉職がKさんの居室を訪問すると、Kさんは、「早く家に帰らなくては…」と言いながらタンスから衣類を取り出していた。

問題 33 L 介護福祉職が居室を訪問したときに、最初にとる対応として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 衣類をタンスへ戻すように促す。
- 2 居室から出ないように願う。
- 3 ここに入居したことを覚えていないのかと質問する。
- 4 ここは仕事場ではないことを説明する。
- 5 挨拶しながら表情や行動を観察する。

問題 34 客観的事実を表す介護記録として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 16 時頃、「仕事は終わりました。家に帰ります」という発言があった。
- 2 自宅のことが心配になって「家に帰る」という発言があった。
- 3 不安時に無断外出が心配されるため、様子の観察が必要と考える。
- 4 認知症 (dementia) が悪化し、ここがどこなのかを理解していないようだ。
- 5 帰宅願望があったが、特に問題はなかった。

生活支援技術

問題 35 一戸建ての住宅に暮らす利用者の地震対策に関する訪問介護員 (ホームヘルパー) の助言として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 家具には、キャスターをつける。
- 2 書棚の上部には、重い物を収納する。
- 3 食器棚は、ガラス扉を外す。
- 4 外への避難経路は、玄関の 1 方向とする。
- 5 非常時に持ち出す物は、リュックサックにまとめておく。

問題 36 介護保険の給付対象となる住宅改修を利用してトイレを改修するとき、介護福祉職が助言する内容として、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 開き戸は、自動ドアに変更できる。
- 2 和式便器の上に、腰掛け便座を設置できる。
- 3 滑りにくい床材に変更できる。
- 4 取り外しが可能な手すりを設置できる。
- 5 現在使用している洋式便器に、洗浄機能を付加できる。

問題 37 ユニバーサルデザイン (universal design) の 7 原則に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 高齢者が優先的に使用できる。
- 2 使い方を統一する。
- 3 情報伝達の手段は一つにする。
- 4 使用するためには訓練が必要である。
- 5 誰にでも使える大きさと広さが確保されている。

問題 38 次の記述のうち、高次脳機能障害 (higher brain dysfunction) による着衣失行のある人に対する着衣の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 着替えができない理由を本人に確認する。
- 2 左右がわかるように衣類に印をつける。
- 3 着衣の前に全ての手順を口頭で指示する。
- 4 衣服を畳んで渡す。
- 5 着衣の方法を毎回変えるように勧める。

問題 39 更衣のための介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手指の細かな動作が難しい利用者に、マグネット式のボタンを勧める。
- 2 認知症 (dementia) のある利用者に、ボタンエイドの使用を勧める。
- 3 下肢の筋力低下のある利用者に、立位で更衣をするように勧める。
- 4 視覚障害のある利用者に、ソックスエイドの使用を勧める。
- 5 片麻痺のある利用者に、袖ぐりの小さい上衣を勧める。

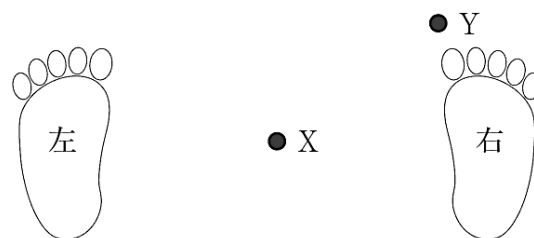
問題 40 介護老人保健施設の利用者の身じたくに関する専門職の役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員 (ケアマネジャー) は、洗面時の関節可動域の制限を改善する。
- 2 支援相談員は、着脱に使用する福祉用具を選定する。
- 3 栄養士は、破損した義歯を修復する。
- 4 看護師は、糖尿病 (diabetes mellitus) に伴う管理が必要な利用者の爪切りを行う。
- 5 理学療法士は、身体状況に合わせて衣類を作り直す。

問題 41 次の記述のうち、ベッドから車いすへの移乗介護で最初に行うこととして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 移乗の目的を説明して同意を得る。
- 2 移乗の方法を説明する。
- 3 衣服を着替えてもらう。
- 4 車いすを介護しやすい位置に調整する。
- 5 ベッドの高さを調節する。

問題 42 立位をとり静止している利用者の重心線が、点Xから点Yに移動したときに考えられるふらつきとして、適切なものを1つ選びなさい。



- 1 左前方へのふらつき
- 2 右前方へのふらつき
- 3 左後方へのふらつき
- 4 後方へのふらつき
- 5 右後方へのふらつき

問題 43 右片麻痺の利用者が、手すりを利用して階段を昇降するときの介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手すりが利用者の右側になるように声をかける。
- 2 階段を昇るとき、利用者の左後方に立つ。
- 3 階段を昇るとき、右足から出すように声をかける。
- 4 階段を降りるとき、利用者の右前方に立つ。
- 5 階段を降りるとき、左足から出すように声をかける。

問題 44 Mさん（78 歳，女性）は，体格指数（BMI）は 18.7 である。病気や食事制限はない。この 1 年間で体重が 2 kg 減少し，「最近，歩くのが遅くなり，疲れやすくなった」と言っている。Mさんに普段の食生活を尋ねたところ，お茶漬けやうどんが済みますことが多いと答えた。

介護福祉職が食事バランスガイドを用いて摂取を勧める区分として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 主食
- 2 副菜
- 3 主菜
- 4 牛乳・乳製品
- 5 果物

問題 45 いすに座って食事をする利用者の姿勢を確保する介護として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 顎を上げてもらう。
- 2 テーブルは，肘が付き腕が自由に動かせるものを用意する。
- 3 テーブルと体の間を 30 cm 離す。
- 4 体幹を後方に傾けてもらう。
- 5 いすに浅く座ってもらう。

問題 46 高齢者の食生活に関する助言として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 骨粗鬆症（osteoporosis）の予防として，ビタミンD（vitamin D）の摂取を勧める。
- 2 高血圧症（hypertension）の予防として，果物の摂取を控える。
- 3 便秘の予防として，水分摂取を控える。
- 4 ドライマウス（dry mouth）の予防として，柔らかい食物を勧める。
- 5 逆流性食道炎（reflux esophagitis）の予防として，食後すぐに横になる。

問題 47 左半側空間無視のある利用者の食事介護として，最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の左側にトレイ（tray）を置く。
- 2 トレイ（tray）の右側に印をつける。
- 3 クロックポジションに従って配膳する。
- 4 食べる様子を観察して適宜食器の位置を変える。
- 5 利用者の右側にあるテレビをつけておく。

問題 48 清拭の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

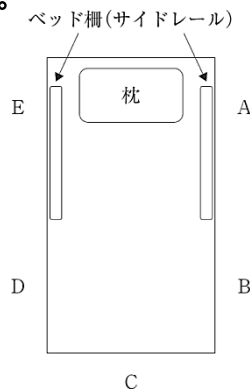
- 1 目のまわりは目尻から目頭に向かって拭く。
- 2 背部は患側を下にして拭く。
- 3 腹部は臍部から恥骨部に向かって拭く。
- 4 両下肢は末梢から中枢に向かって拭く。
- 5 皮膚についた水分は最後にまとめて拭く。

問題 49 利用者の状態に応じた入浴の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血液透析を受けている人は、透析直後に入浴する。
- 2 胃ろうを造設している人は、入浴を控える。
- 3 心臓機能障害がある人は、半身浴にする。
- 4 酸素療法を行っている人は、鼻カニューレを外して入浴する。
- 5 回腸ストーマを造設している人は、食後1時間以内に入浴する。

問題 50 右片麻痺のある利用者が、ベッドサイドでポータブルトイレを使用するときの設置場所として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E



問題 51 膀胱留置カテーテルを使用している利用者への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 水分摂取を控えてもらう。
- 2 カテーテルが折れていないことを確認する。
- 3 採尿バッグは膀胱と同じ高さに置く。
- 4 尿漏れが見られたらカテーテルを抜去する。
- 5 尿量の確認は看護師に依頼する。

問題 52 解熱を目的にした坐薬（座薬）の挿入に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 挿入時は仰臥位（背臥位）で膝を伸ばす。
- 2 挿入時は腹式呼吸を促す。
- 3 坐薬（座薬）はとがっていない方から挿入する。
- 4 挿入後は坐薬（座薬）が排出されないことを確認する。
- 5 衣服を整えてから手袋を外す。

問題 53 肉入りのカレーを常温で保存し、翌日、加熱調理したときの食中毒の原因菌として、最も注意しなければならないものを1つ選びなさい。

- 1 ウエルシュ菌
- 2 カンピロバクター
- 3 サルモネラ菌
- 4 腸炎ビブリオ
- 5 黄色ブドウ球菌

問題 54 ノロウイルス (Norovirus) に感染した人の嘔吐物のついた衣服の処理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 嘔吐物を拭き取ったペーパータオルはごみ箱に捨てる。
- 2 汚染された部分にアルコールを噴霧する。
- 3 汚染された部分を強くもみ洗いする。
- 4 嘔吐物を取り除いた後、次亜塩素酸ナトリウム溶液につける。
- 5 40℃の湯で洗濯する。

問題 55 Aさん(85歳、女性、要介護1)は、認知症(dementia)があり判断能力が不十分である。一人暮らしで、介護保険サービスを利用している。訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問したときに、物品売買契約書を見つけた。Aさんは、「昨日、訪問販売の業者が来た」「契約書については覚えていない」と話した。

訪問介護員(ホームヘルパー)から連絡を受けたサービス提供責任者が、迅速にクーリング・オフの手続きを相談する相手として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 行政書士
- 2 消費生活センター
- 3 家庭裁判所
- 4 保健所
- 5 相談支援事業所

問題 56 眠れないと訴える高齢者に介護福祉職が行う助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 起床時に日光を浴びるように勧める。
- 2 日中、長い昼寝をするように勧める。
- 3 夕食後2時間以内に就寝するように勧める。
- 4 寝る前に緑茶を飲むように勧める。
- 5 決まった就床時刻を守るように勧める。

問題 57 施設における安眠を促すための環境に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 湿度は20%以下に設定する。
- 2 寝衣は、体に密着した形のものを選ぶ。
- 3 冷暖房の風が、体に直接当たるようにする。
- 4 夜間の照明は、部屋全体がはっきり見える明るさにする。
- 5 介護福祉職同士の会話が響かないようにする。

問題 58 睡眠薬を服用している高齢者への介護福祉職の対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アルコールと一緒に服用してもらった。
- 2 服用後、1時間は起きているように伝えた。
- 3 日中、ふらつきがみられたので医師に伝えた。
- 4 通常量では眠れないと言われたので、追加して飲むように伝えた。
- 5 体調に合わせて服薬時間を変更した。

問題 59 Bさん(83歳、女性)は、介護老人福祉施設に入所している。終末期で、「最期はこの施設で迎えたい」という本人の希望があり、家族もそれを望んでいる。

昨日から死前喘鳴が出現し、医師から、「あと数日でしょう」と言われた。

「呼吸が苦しそうだ」と言っている家族への介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「自然な経過なので体位の工夫をして一緒に見守りましょう」
- 2 「Bさんに意識はないので心配いらないですよ」
- 3 「痰の吸引をすると楽になるので準備しますね」
- 4 「Bさんを励ましてください」
- 5 「すぐに救急車を呼びましょう」

問題 60 高齢者施設において介護福祉職が行う死亡後の介護について、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ペースメーカーを取り除く。
- 2 口が閉じない場合は紐で顎を固定する。
- 3 衣服は着衣がしやすい服を選ぶ。
- 4 全身清拭には水を使用する。
- 5 家族に、死亡後の介護を一緒に行うかどうかを確認する。

介護過程

問題 61 介護過程の目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の価値観を変える。
- 2 利用者の療養上の世話をする。
- 3 利用者の経済的負担を軽減する。
- 4 利用者の望んでいる、よりよい生活を実現する。
- 5 利用者の生活習慣を改善する。

問題 62 介護計画の作成に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 抽出されたニーズを踏まえて目標を設定する。
- 2 内容が明確であれば支援方法の記載は省略する。
- 3 支援方法は「～させる」と使役文で記載する。
- 4 利用者の正しい理解を促すために専門用語を用いる。
- 5 計画の見直しの時期は決めない。

問題 63 介護計画の実施に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職の価値観に沿って実施する。
- 2 実施した状況は客観的に記録する。
- 3 計画の内容は実施の直前に家族に伝える。
- 4 他職種への経過報告は目標の達成後に行う。
- 5 利用者の満足度よりも目標の達成を優先する。

次の事例を読んで、問題 64、問題 65 について答えなさい。

〔事例〕

Cさん（75 歳，男性，要介護 1）は，脳塞（cerebral infarction）を発症した。2 か月前から在宅復帰を目的として介護老人保健施設に入所している。次女は遠方から時々面会に来ているが，長女とは音信不通の状態が続いている。

Cさんは現在，右片麻痺で歩行には杖を使用している。担当の理学療法士から，「レクリエーションには積極的に参加するなど意欲はあるが，歩行状態が思うように改善しないと悩んでいた」との報告があった。

その後，歩行訓練やレクリエーションに参加しなくなり，居室のベッドで寝て過ごすことが多くなった。また，時々尿失禁をするようになった。

Cさんは，「自宅に帰りたいのに，このまま車いすになったらどうしよう」と担当の介護福祉職に打ち明けた。

問題 64 Cさんの介護過程の展開に関する次の記述のうち，最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 長女から入所前の情報を収集する。
- 2 現状を再アセスメントし，生活課題を抽出する。
- 3 自宅に戻った後の介護計画を立案する。
- 4 尿失禁に対応する介護計画の実施を優先する。
- 5 介護計画の最終的な評価は理学療法士が担当する。

問題 65 次の記述のうち，Cさんの短期目標として，最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 車いすの使用方法を理解する。
- 2 居室のベッドで安静に過ごす。
- 3 次女との同居を実現する。
- 4 今まで以上に，意欲的に歩行訓練に取り組む。
- 5 居室を出てレクリエーションに参加する。

次の事例を読んで、問題 66、問題 67 について答えなさい。

〔事例〕

Dさん(77歳、男性、要介護2)は、妻と二人で暮らしている。定年まで、高校の体育の教師で野球部の監督をしていた。起居動作に問題はないが、認知症(dementia)と診断されたため、現在、通所介護(デイサービス)を週3回利用している。通所介護(デイサービス)では、短期目標を「役割を持ち意欲的に生活する(3か月)」と設定し、体操を指導する役割をお願いしていた。

実施1か月が経過した頃、テレビで高校野球を見たDさんは暗い表情で、「生徒を全国大会に連れて行けなかったのは私の責任だ」と嘆いていた。この日は、担当の介護福祉職が体操の指導をお願いしても、「今すぐ行かなければ」と断った。

問題 66 Dさんが体操の指導を断った理由の解釈として、最も可能性が高いものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職に依頼されたため。
- 2 妻に会いに自宅に帰りたいため。
- 3 高校野球のことが気になっているため。
- 4 立ち上がり動作が不安定なため。
- 5 体育の授業を行うため。

問題 67 その後も体操の指導を継続していたDさんは、参加者から体操の順番が違うと指摘されて指導の意欲を失い、一人でいることが多くなった。しかし、体操の時間になると遠くからその様子を眺めていた。

Dさんが今後も現在の役割を継続するために、優先して取り組むべき課題として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体操に対する関心を取り戻すこと。
- 2 体操の内容を変更すること。
- 3 体操を指導する自信を回復すること。
- 4 体操の正しい順番を学び直すこと。
- 5 指摘した参加者に謝ること。

問題 68 Eさん(70歳、女性、要介護1)は、夫、長男と共に農業をしていた。半年前に脳梗塞(cerebral infarction)で左片麻痺になった。現在は介護老人保健施設に入所し、リハビリテーションに取り組んでいる。介護福祉職が居室を訪れたとき、Eさんが、「料理は苦手なの」「そろそろ夏野菜の収穫の時期ね。収穫は楽しいし、採れたての野菜を近所に配るとみんな喜ぶのよ」と言った。その後、「夫には家事に専念しなさいと言われているから…」とうつぶして言った。

介護福祉職は介護福祉職間のカンファレンス(conference)でEさんの思いを共有した。Eさんの思いとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 農業に関わっていきたい。
- 2 家事に専念したい。
- 3 後継者の育成に関わりたい。
- 4 家でのおんびりしたい。
- 5 料理の自信をつけたい。